

2010年式モデルのCRF450Rは「Leading Battle Weapon」をキーワードに開発、PGM-FIを新採用し、前・後重量配分を適正化による加速性能の向上で好評な2009年式モデルに対して、細部にこだわった変更を行うことにより、戦闘力の向上を図りました。

エンジンではパワフルで扱いやすい出力特性はそのままに、電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)のプログラムを変更することで、より低速域の出力特性を向上させています。

また、オートデコンプレッションシステムを見直しすることにより、キック始動時の荷重を低減し、どんな条件下でも簡単にエンジンを始動可能にしている。サスペンションはセッティングを変更。これにより、乗り心地性能を大幅に向上させるとともに、更に高い走破性能を実現しました。

